

## 1 本園の教育目標

子どもを中心として教育の中でひとりひとりの個性を尊重し、自立ある子どもをねらい、自分ひとりでできるよう援助します。  
モンテッソーリ教育を通して自分で学力を身につけます。

## 2 教育内容について重点的に取り組む目標

### 1 平和な心を育てよう

- ・子どもの心が安定し、互いの思いが違っても友達を許せる心や、周りの人に対して優しく、思いやりのある心を育む。
- ・神様を身近に感じ、感謝する心や自分の弱さを認め、自己訂正出来る心を養う。

### 2 心と体を使って生きる力を育てよう

- ・何事に対してもチャレンジ精神を持ち意欲的に活動したり、自ら選択して判断したりする力を養う。
- ・困っていることや伝えたいことを言葉で表現する力や、友達に対して自らコミュニケーションをとれる力を養う。
- ・身の周りの事を自分で行うことや、周りの状況を判断して行動する力を養う。

- A組
- ・何事にも取り組み自律心を養う。
  - ・お互いの特徴を知り、友だちとの交流を通して協調性を育てる。

- B組
- ・個々の課題に向かいチャレンジ精神を養う。
  - ・友だちとの関わりを通して、コミュニケーションの力を育む。

- C組
- ・繰り返し活動を通して生活の基礎を身に付ける。

- D組
- ・園生活に慣れ楽しく過ごす。

## 3 総合的に取り組む目標

- ・安全管理体制の強化・・・火災・地震・津波・不審者等の対応の強化
- ・教職員の資質向上・・・報告、連絡、相談など園児に関する情報の共有  
モンテッソーリ教育の質の向上
- ・コロナ禍での行事運営の配慮・・・園児、保護者への混乱を防ぎ安全対策の強化
- ・幼小連絡・・・コロナ以前に戻るの難しいが、小学校へのスムーズな進級が出来るよう連携を行えるよう努力する。

#### 4 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取り組み状況
安全管理体制の強化	B	地震、津波、火災などの避難訓練を繰り返すことにより、緊急時の対応が迅速に出来るよう努力した。今後は特に不審者対応の訓練について強化が必要。
教職員の資質向上	B	園での様子等保護者への連絡も学校評価によって一定の評価を得ることはできたが、特徴であるモンテッソーリ教育の職員による学びは今以上に必要。
コロナ禍での行事運営	A	感染予防に留意して計画し行った。少しずつ緩和される部分もあり、検温等保護者への協力も頂き無事おこなうことが出来た。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

#### 5 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一定の成果は出たと思うが、課題も明確になりより一層の努力が必要と考えられる。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

#### 6 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育内容の向上	保育内容の向上の為、教師一人一人が客観的な観察の視点で子どもを観る努力を行うと同時に、自身のスキルの向上のため、園内研修を重ね、積極的な学びの場を作る。
安全管理体制への強化	特に地震における訓練、不審者への対応など、今以上の訓練や強化が必要。
幼小接続	状況に合わせてコロナ対策を行った上で、小学校の見学や行事への参加を通して小学校への親しみが持てるようにしていきたい。